

笑ってごらん

第 638 号 H. 30. 11. 24 発行

～今日の格言～

「あのとき一生懸命やったから今がある。」
何年後・・・そう思える瞬間が絶対に来る。
一生懸命な自分を信じろ。(予備校講師：吉野敬介)



前号でお知らせした鹿児島県高等学校教育研究会看護部会秋季研究協議会。15・16日の2日間、県内看護系学科を設置している高校の校長先生および看護教科の先生方約30名に来校していただき、無事予定通りの協議を終えることができた。

初日朝は専門課程生が来校された先生方を会場まで案内してくれた。笑顔がとても素敵だった。

特筆すべきは、直先生による基礎課程2年4組を対象とした成人看護校内実習の研究授業。

大腸がんの術前患者への対応のあり方を看護師

役・患者役に分かれてシミュレーションを行う授業だったが、当日の患者情報はタブレットで通知されるため、最新情報に応じた対応が求められる。

実習後に発表された感想は全て素晴らしい視点に基づくものばかりであり、生徒たちが緊張しながらも真剣に取り組んだことがうかがえた。

他校の先生方からも「こんな素晴らしい授業は見たことない」と高評価を得、嬉しかった。

協力してくれた皆さん、本当にありがとう。

私が今月八〜九日にホテル宿泊を伴う研修会に参加した時の話である。(十日全体朝礼で講話済み)

二日目、バイキング形式の朝食会場での出来事。既に多くの宿泊客が来ていた。私も料理の品定めをしながら前の客が料理を取り終えるのを待っている。突然その客が取り箸を料理の大皿の上に放り投げサッサと立ち去っていった。朝から不快な気持ちになった。

研修合間の休み時間。私が洗面所で手を洗っていると、後から来た研修生が手洗い後タオルペーパーを手に取り、洗面台周辺を拭き始めた。朝の嫌な場面を忘れさせてくれる清々しい行いだった。

さて、自分は常に周囲の人たちのことを考え配慮して行動しているだろうか。自分のことだけしか考えずに前者のような振り舞いをしてはいないだろうか。このことを通じて、自分の行動を振り返る貴重な機会になった。



10月、テレビコマーシャルには「秋の〇〇祭り」とか「ハロウィン」の文字が躍っていたが、11月に入った途端、クリスマスツリーやきらびやかなイルミネーションの映像が登場、月末を迎えようとしている今では当たり前のようになっている。まだ12月ではないのに、コマーシャルや街のディスプレイなどによって私たち消費者の感覚は妙に刷り込まれてしまっている感がある。

併せて、テレビでは「この一年を振り返って」などの番組も目立ってくる。「この一年で大活躍した人物ベスト10」とか「注目度の高かったニュース特集」など。毎年目を惹かれてしまうのが「一年の世相を表す漢字一字」である。最も応募数の多かった字が選ばれ、12月12日、清水寺森清範貫主により揮毫される。さて、平成最後の年を表す漢字は・・・？

